

株式会社 広告EDIセンター

- 本書を無断で他に転載しないようお願いします。
- 本書は、予告なしに変更する場合があります。
- 本書の内容に不備がある場合は、ご連絡ください。

本書に掲載されている製品およびサービス等の名称は、各社の商標または登録商標です。

版	更新日	変更内容
1	2023/03/27	新規作成
2	2023/06/22	1.3.2.ソフトウェア Adobe AIR ランタイムのダウンロード対象に関する説明を追加
3	2023/09/14	 1.3.2.ソフトウェア 動作環境OSから「Windows Server 2012 Standard (64bit)」、 「Windows Server 2012 R2 Standard (64bit)」を削除 1.3.3.ネットワーク 「統合型閉域ネットワークサービス(旧名)」のサービス名称を 変更

変更履歴

<u>1.</u>	<u>はじ</u> と	あに しんしょう しんしょう しんしょう しんしょう しんしょう ひんしょう ひんしょ ひんしょう ひんしょ ひんしょう ひんしょ ひんしょ ひんしょ ひんしょ ひんしょ ひんしょ ひんしょ ひんしょ		5
	1.1.	セットア	ップ内容に適したマニュアルについて	5
	1.2.	名称に~	ついて	5
	1.3.	U/Cサ-	-バの動作環境について	6
		1.3.1.	ハードウェア	6
		1.3.2.	ソフトウェア	6
		1.3.3.	ネットワーク	6
		1.3.4.	動作条件	6
	1.4.	インスト・	ーラについて	7
<u>2.</u>	<u>U/C+</u>	ナーバのノ	<i>、</i> ージョンアップ	8
	2.1.	注意事項	項	8
	2.2.	バージョ	ョンアップ手順	9
		2.2.1.	U/Cサーバの停止	9
		2.2.2.	SystemManager、TaskManagerのアンインストール	11
		2.2.3.	インストーラの実行	12
		2.2.4.	不要フォルダの削除	22
		2.2.5.	サービス設定変更	22
		2.2.6.	U/Cサーバの起動	23
	2.3.	バージョ	ョンアップ後の動作確認	23
		2.3.1.	問い合わせ機能による確認	24
	2.4.	SystemN	Manager、TaskManagerの別端末でのバージョンアップ	25
	2.5.	エラーカ	『発生したときは	26
		2.5.1.	対応方法	26
		2.5.2.	インストーラの再実行	27

本書は、「U/Cサーバ 10.5.0 (以下、U/Cサーバ)」のバージョンアップ手順、環境設定方法について記述しています。

1.1. セットアップ内容に適したマニュアルについて

U/Cサーバのインストール、バージョンアップ、サーバ移行のうち、目的のセットアップ内容に沿った適切なマニュアルを参照してください。本書は以下のうち2つ目に該当します。

▶ 新規にU/Cサーバをインストール

Windows Serverに新しくU/Cサーバをインストールする場合、別紙「U/Cサーバ 10.5.0 インストールマニュアル」を参照してください。

 既存のU/Cサーバをバージョンアップ 過去のバージョンのU/CサーバがインストールされているWindows Serverにおいて、最新のU/Cサーバへバージョンア ップする場合、本書を参照してください。

登録されているデータを保持した状態で、U/Cサーバのアプリケーションのバージョンアップを行います。

▶ 既存のU/Cサーバを元に新規U/Cサーバへ移行

U/CサーバがインストールされているWindows Serverを所有している状態で、別のWindows Serverを新調してそちらに 最新のU/Cサーバを構築する場合、別紙「U/Cサーバ サーバ移行マニュアル」を参照してください。

既存のU/Cサーバに登録されている情報を、新調するU/Cサーバへ移行します。既存のU/Cサーバと新調するU/Cサ ーバのバージョンが異なる場合でも移行可能です。

1.2. 名称について

本書において使用する名称は以下の通りです。

- PostgreSQL U/Cサーバが使用するデータベースアプリケーションです。
- Apache Tomcat
 U/Cサーバが使用するアプリケーションサーバです。
- Adobe AIR
 SystemManagerとTaskManagerを実行するためのランタイムライブラリです。
- SystemManager 広告取引EDIシステムと通信するための設定等を表示・入力するクライアント画面です。
- TaskManager
 データ交換を行うためのスケジュール登録などを行うクライアント画面です。
- UCController U/Cサーバ全体を管理する機能です。
- ScheduleController
 U/Cサーバのスケジュール起動を管理する機能です。

1.3. U/Cサーバの動作環境について

U/Cサーバの動作環境は以下の通りです。

1.3.1. ハードウェア

寿	1–1	U/Cサーバ動作費倍(ハードウェア	١
豕	1-1	U/しり ―/~動TF環境(/^ートリエ/	,

環境	条件
CPU	2コア以上推奨
メモリ	2GB以上推奨
ハードディスク	U/Cサーババージョンアップ時に必要なディスク容量
	約2,500MB

1.3.2. ソフトウェア

衣 1-2 U/U y/ 「動作環境(ノノトリエノ)				
環境	条件			
OS	Windows Server 2016 Standard (64bit)			
	Windows Server 2019 Standard (64bit)			
	Windows Server 2019 Datacenter (64bit)			
	Windows Server 2022 Standard(64bit)			
	Windows Server 2022 Datacenter(64bit)			
ミドルウェア	Adobe AIR ランタイム			
	※HARMAN社から無償配布されています			
	※下記URLより「AIR runtime」の最新版をダウンロードし、インストールしてください。			
	https://airsdk.harman.com/runtime			

表 1-2 U/Cサーバ動作環境(ソフトウェア)

1.3.3. ネットワーク

以下いずれかのネットワーク環境が整っている必要があります。

表 1-3 U/Cサーバ動作環境(ネッ

環境	備考
インターネット接続(TLS接続)	お客様環境に依存するため、詳細はお客様社内ネットワークのご担当者様にご確
	認ください。
統合型セキュアネットワークサービス	ご利用にあたっては別途料金が発生します。
(旧サービス名:DCAN)	詳細は広告取引EDIサポートデスクまでお問い合わせください。

1.3.4. 動作条件

U/Cサーバの動作条件は以下の通りです。

- ▶ 動作環境のOSおよびミドルウェアが正常に動作していること
- > ネットワーク設定が行われており、通信ができる状態であること

1.4. インストーラについて

U/Cサーバのインストーラ(UCS_ver10.5.0_setup.exe)は、初期インストールとバージョンアップのどちらにも対応することができます。インストーラを実行すると、以下の条件に従って、自動的に該当する処理の開始画面が表示されます。

> インストール

U/Cサーバ 10.0.0 以降のバージョンがインストールされていないこと

 バージョンアップ U/Cサーバ 10.0.0 以降のバージョンをインストール済みであること

2. U/Cサーバのバージョンアップ

本章ではU/Cサーバのバージョンアップ手順を説明します。 バージョンアップは次の順番で実施します。

- 1. U/Cサーバの停止
- 2. SystemManager、TaskManagerのアンインストール
- 3. インストーラの実行
 - ▶ 現行モジュールのバックアップ取得
 - ▶ 新規モジュールへの更新
 - ▶ データベース定義の更新
 - ➢ SystemManagerのインストール
 - ▶ TaskManagerのインストール
 - ➢ PostgreSQLのインストール
- 4. 不要フォルダの削除
- 5. サービス設定変更
- 6. U/Cサーバの起動

2.1. <u>注意事項</u>

バージョンアップ実施に際して、以下の条件を満たしていることを確認してください。全ての条件を満たさない場合は、以降のバージョンアップ手順は実施出来兼ねます。条件を満たすことができない場合は、一度U/Cサーバをアンインストールし、再度インストールすることでバージョンアップを実施してください。

- ▶ U/Cサーバ 10.0.0 以降のバージョンをインストールしている端末でバージョンアップを行うこと
- ▶ U/Cサーバのインストールフォルダを変更しないこと
- ▶ 新規PostgreSQLのインストール先を変更しないこと
- ▶ (U/Cインストールフォルダ)¥operationフォルダにアクセス権限があること
- Adobe AIR ランタイムのバージョンが最新になっていること
 ※「1.3.2.ソフトウェア」に記載のURLより最新版をダウンロードし、インストールしてください。

なお、バージョンアップ実施に際して、以下の内容が削除されることはありません。

- ▶ SystemManager、およびTaskManagerから登録した設定(ユーザ設定や送受信スケジュール等)
- > (U/Cインストールフォルダ)¥ユーザフォルダ配下(送受信データ含む)

※ 以降の手順へ進む前に、必ずU/Cサーバのバックアップを取得してください。

※ バックアップ取得手順は「UCサーバ 10.5.0 オペレーションマニュアル」の「7.1.バックアップ」を参照してください。

2.2. バージョンアップ手順

2.2.1. U/Cサーバの停止

はじめに、稼働中のU/Cサーバを停止します。停止するサービス・プロセスは以下の通りです。

- ▶ プロセス UCController、ScheduleController
- ▶ サービス UcsLog、UIServer

※ PostgreSQLサービスは停止不要です。

- 1. プロセス UCController、ScheduleController の停止手順
 - U/CサーバがインストールされているWindows Serverのデスクトップ画面にて、キーボードのWindowsロゴキーを 押しながらRキーを押し、「ファイル名を指定して実行」ダイアログボックスを開きます。
 - ② ダイアログボックスに「cmd」と入力してOKをクリックし、コマンドプロンプト画面を開きます。

ファイル名を指定して実行	x
実行するプログラム名、または開くフォルダーやドキエメント名、イン ネット リソース名を入力してください。	9-
名前(<u>0</u>): cmd	~
🞯 このタスクは管理者特権で作成されます。	
OK キャンセル 参照(<u>B</u>).	

- ③「コマンドプロンプト」画面で「**%UCS_HOME%¥UcsProgram¥bin¥ucs shutdown**」と入力し、Enterを押して実行しま す。
- ④ 正常に停止した場合は「停止が完了しました」というメッセージが表示されます。



- 2. サービス UIServer、UcsLog の停止手順
 - ① Windowsのスタート画面からコントロールパネルを開き、「管理ツール」から「サービス」を起動します。
 - ② 一覧で「UcsLog」サービスを選択します。右クリックメニューから「停止」をクリックします。

0,		サービス		- 🗆 X
ファイル(F) 操作(A) 表	示(V) へルプ(H)			
🗢 🄿 🖬 🗐 Q 🗟	· 👔 🕞 🕨 💷 🕪			
🤍 サービス (ローカル)	◇ サービス (ローカル)			
	UcsLog	名前	説明	^
	<u>サービスの停止</u> サ <u>ービスの再起動</u>	UcsLog UJServer UPnP Device Host User Access Logging Se User Profile Service Virtual Disk VMTools VMware スナップショット Volume Shadow Conv. III	閲始(S) 停止(0) 一時停止(U) 再超(M) 再起数(E) すべてのタスク(K) ▶ 最新の情報に更新(F)	・上での UPnP 5 ・ローカル サーバ)、ユーザー プロ: ム、ファイル シス: 5 間のオブジェク プショット プロバ1
ローカル コンピューター のサービ	\孤張 /標準/ ス UcsLoq を停止します。		へルプ(H)	

- ③ 正常に停止されている場合は、「UcsLog」サービスの状態が空白になっています。
- ④ 一覧で「UIServer」サービスを選択します。右クリックメニューから「停止」をクリックします。

Q,		サービス		_ D X
ファイル(F) 操作(A) 表現	⊼(V) ∧ルプ(H)			
🦛 🏟 🖬 🖬 🖬 📾				
🏩 サービス (ローカル)	♀ サービス (ローカル)			
	UIServer	名前	說明	^
	<u>サービスの停止</u> サ <u>ービスの再起動</u>	UIServer UPnP Device Host User Access Logging Se User Profile Service Virtual Disk VMTools VMTools VMware スナップショット プ Volume Shadow Copy	間始(S) 停止(O) 一時停止(U) 再間(M) 再起動(E) すべてのタスク(K) ト	上での UPnP : . ローカル サーバ)、ユーザー プロ: ム、ファイル シス: 5 間のオブジェク プショット プロバイ 他の目的で使用
ローカル コンピューター のサービ	│ │ 拡張 / 標準 / ス UIServer を停止します。	C Windows All-User Insta	最新の情報に更新(F) プロパティ(R) ハルプ(H)	

- ⑤ 正常に停止されている場合は、「UIServer」サービスの状態が空白になっています。
- 3. U/Cサーバ停止後の確認

停止作業の完了後は、以下の内容をご確認ください。

- ▶ U/Cインストールフォルダ配下のフォルダやファイルへ常時アクセスするアプリケーションが稼働している場合には、該当のアプリケーションを停止していること(例:ウイルス対策ソフトでのウイルス検索処理など)
- ▶ U/Cインストールフォルダ配下のフォルダやファイルをエクスプローラ等で開いていないこと
- ▶ U/Cサーバ停止時に立ち上げたコマンドプロンプト画面を閉じていること

2.2.2. SystemManager、TaskManagerのアンインストール

次に、SystemManager、TaskManagerをアンインストールします。

U/Cサーバのバージョンアップにあたって、SystemManager、TaskManagerを事前にアンインストールする必要があります。 ただし、アンインストールによって、接続先設定(ログイン設定)が削除されることはございません。また、バージョンアップ後、 接続先設定(ログイン設定)の登録内容は引き継がれますので、再設定作業は不要です。

◆コントロールパネルの「プログラムと機能」より、SystemManagerのアンインストールを実施します。

ਿ	l	プログ	ラムと機能			L	 ×
	بر-مارد 🛯 🗎 🝷 🛞 🕣	, パネル → すべてのコントロール パネル項目 → プログラムと機能			▼ ℃ 九	コグラムと機能の検索	9
	コントロール パネル ホーム インストールされた更新プログラムを 表示	プログラムのアンインストールまたは変更 プログラムをアンインストールするには、一覧からプログラムを選択して [アンインストール]、[変更]、または [修復] をクルックします。					
•	Windows の機能の有効化または 無効化	整理 マ アンインストール					
	ネットワークからプログラムをインスト	名前 ^	発行元	インストール日	サイズ	バージョン	
	-10	Microsoft Visual C++ 2008 Redistributable - x86 9.0.3	Microsoft Corporation	2014/05/21	10.1 MB	9.0.30729.6161	
		Microsoft Visual C++ 2010 x64 Redistributable - 10.0	Microsoft Corporation	2019/09/29	14.6 MB	10.0.40219	
		Microsoft Visual C++ 2012 Redistributable (x64) - 11.0	Microsoft Corporation	2016/03/18	20.5 MB	11.0.60610.1	
		Microsoft Visual C++ 2012 Redistributable (x86) - 11.0	Microsoft Corporation	2016/03/18	17.3 MB	11.0.60610.1	
		Microsoft Visual C++ 2013 Redistributable (x64) - 12.0	Microsoft Corporation	2021/06/07	20.5 MB	12.0.40660.0	=
		Microsoft Visual C++ 2017 Redistributable (x64) - 14.1	Microsoft Corporation	2021/06/07	25.0 MB	14.16.27027.1	
		Microsoft Visual C++ 2017 Redistributable (x86) - 14.1	Microsoft Corporation	2019/04/26	22.0 MB	14.12.25810.0	
		PostgreSQL 10	PostgreSQL Global Development	2021/06/07	463 MB	10	
		Sakura editor(サクラエディタ)	サクラエディタ開発チーム	2016/12/26	5.32 MB		
		SystemManager	Advertisement EDI Center Inc.	2021/06/28		10.3.0	
		🚰 TaskManager	Advertisement EDI Center Inc.	2021/06/28		10.3.0	
		Teams Machine-Wide Installer	Microsoft Corporation	2019/11/23	89.3 MB	1.2.0.17057	~
		Advertisement EDI Center Inc. 뻻品/(-ジョン:	10.3.0	701 701 702	13 0 MB		

◆コントロールパネルの「プログラムと機能」より、TaskManagerのアンインストールを実施します。

123	プログラムと機能							×		
0	ו,−םזאכב ו 🔤 ז ד 💿 🖯	ノパネル ト	すべてのコントロール バネル項目 🕨 プログラムと機能			v c 🗦	ログラムと機能の検索		, P	ב
	コントロール パネル ホーム	プログ	ブラムのアンインストールまたは変更							
	インストールされた更新プログラムを 表示	プログ	ラムをアンインストールするには、一覧からプログラムを選択して [ア	シインストール】、[変更]、または [修復] をクリ	ックします。					
6	Windows の機能の有効化または									_
	無效化	整理 ▼	アンインストール					8== -		6
	ネットワークからプログラムをインスト	名前	*	発行元	インストール日	サイズ	バージョン			~
	-10	Micros	oft Visual C++ 2008 Redistributable - x86 9.0.3	Microsoft Corporation	2014/05/21	10.1 ME	9.0.30729.6161			
		Micros	oft Visual C++ 2010 x64 Redistributable - 10.0	Microsoft Corporation	2019/09/29	14.6 ME	3 10.0.40219			
		👷 Micros	oft Visual C++ 2012 Redistributable (x64) - 11.0	Microsoft Corporation	2016/03/18	20.5 ME	3 11.0.60610.1			
		#Micros	oft Visual C++ 2012 Redistributable (x86) - 11.0	Microsoft Corporation	2016/03/18	17.3 ME	3 11.0.60610.1			
		👷 Micros	oft Visual C++ 2013 Redistributable (x64) - 12.0	Microsoft Corporation	2021/06/07	20.5 ME	3 12.0.40660.0			-
		Micros	oft Visual C++ 2017 Redistributable (x64) - 14.1	Microsoft Corporation	2021/06/07	25.0 ME	3 14.16.27027.1			
		#Micros	oft Visual C++ 2017 Redistributable (x86) - 14.1	Microsoft Corporation	2019/04/26	22.0 ME	3 14.12.25810.0			
		Postgr	eSQL 10	PostgreSQL Global Development	2021/06/07	463 ME	3 10			
		🔛 sakura	editor(サクラエディタ)	サクラエディタ開発チーム	2016/12/26	5.32 ME	3			
		🐷 Syster	nManager	Advertisement EDI Center Inc.	2021/06/28		10.3.0			
		🚰 TaskM	anager	Advertisement EDI Center Inc.	2021/06/28		10.3.0			
		Teams	Machine-Wide Installer	Microsoft Corporation	2019/11/23	89.3 ME	3 1.2.0.17057			-
		J	Advertisement EDI Center Inc. 製品パージョン:	10.3.0	7017/04/27	13.0 M	,			

2.2.3. インストーラの実行

◆インストーラ(UCS_ver10.5.0_setup.exe)をダブルクリックして実行します。

「バージョンアップ開始」画面が表示されるので、「次へ」ボタンをクリックします。



◆「バージョンアップ前の要約」画面です。



注意事項について問題がなければ、[インストール]ボタンをクリックし、バージョンアップを実行します。

◆「広告EDI UCSのインストール」画面です。現行モジュールやデータベースのバックアップ取得、新規モジュールの更新、 データベース定義の更新が自動的に行われます。

処理が完了するとSystemManagerのインストールへ進みます。



◆SystemManagerのインストール設定画面が新規に立ち上がります。

※SystemManagerのインストールが完了するまで、U/Cサーバのインストーラの操作は行えません。 2 UCS パージョン 10.5.0 - □ × |



◆SystemManagerのインストール設定画面です。 インストール先を選択後、[続行]ボタンをクリックしインストールを実行します。 ※インストール先はドライブのみ変更可能です。

🖪 アプリケーションの	ロインストール	—	×
	SystemManager インストールの環境設定 ✓ ショートカットアイコンをデスクトップに追加 ✓ インストール後にアプリケーションを起動 インストール先: C:¥Program Files (x86)¥UCS		
	続行 キャンセル		

◆インストール画面です。インストールが完了すると、自動で完了画面になります。

インストール設定画面で[インストール後にアプリケーションを起動]にチェックをつけていた場合、インストール完了後、 自動でSystemManagerが立ち上がります。右上の[×]ボタンからSystemManagerを終了してください。

🖪 アプリケーションの	Dインストール	_		х
	SystemManager			
	アプリケーションをインストール中		_	
	キャンセル			

◆完了画面です。「完了」をクリックすると、SystemManagerのインストール画面が閉じられ、TaskManagerのインストールへ 進みます。なお、インストール設定画面で[インストール後にアプリケーションを起動]にチェックをつけていた場合、 以下画面は表示されません

め 一回回はないでれよ ビル。		
▲ アプリケーションのインストール		×
SystemManager		
インストールが完了しました。		
完了		

◆TaskManagerのインストール画面が新規に立ち上がります。

TaskManagerのインストールが完了するまで、U/Cサーバのインストーラの操作は行えません。

▲ UCS バージョン 10.5.0	- 🗆 ×
UCS バー	ジョン 10.5.0 のインストール
UCS パージョン 10.5.0 UCS パージョン 10.5.0 Executing Executing インストール中 ターグ InstallAnywhere キャンセンル	× していた マトファイルを実行: TaskManager.exe 100%

◆TaskManagerのインストール設定画面です。

※インストー	ル先はドライブのみ変更可能です。		
4 アプリケーション	のインストール	_	×
	TaskManager インストールの環境設定 ☑ ショートカットアイコンをデスクトップに追加 ☑ インストール行にアプリケーションを起動		
	インストール先: C¥Program Files (x86)¥UCS		
	続行 キャンセル		

インストール先を選択後、[続行]ボタンをクリックし、インストールを実行します。

- ◆インストール画面です。インストールが完了すると、自動で完了画面になります。
- インストール設定画面で[インストール後にアプリケーションを起動]にチェックをつけていた場合、インストール完了後、 自動でTaskManagerが立ち上がります。右上の[×]ボタンからTaskManagerを終了してください。

💁 アプリケーションの	Dインストール	-	×
	TaskManager		
	アプリケーションをインストール中		
	キャンセル		

◆完了画面です。「完了」をクリックすると、TaskManagerのインストール画面が閉じられ、「データベースアップデート開始」 画面へ進みます。なお、インストール設定画面で[インストール後にアプリケーションを起動]にチェックをつけていた場合、 以下画面は表示されません。

アプリケーションのインストール		-	×
TaskManager			
インストールが完了しました。			
完了			

◆「データベースアップデート開始」画面です。[次へ]ボタンをクリックします。

🕙 UCS バージョン 10.5.0	– 🗆 X
	データベースアップデート開始
	PostgreSQLデータベースのアップデートを開始します。
InstallAnywhere キャンセル	戻る(P) 次へ(N)

◆PostgreSQLのインストール画面が新規に立ち上がります。

[Next>]ボタンをクリックし、PostgreSQLのアップデートに進みます。

※PostgreSQLのインストールが完了するまで、U/Cサーバのインストーラの操作は行えません。

🍯 Setup		-		×	
PACKAGED BY	Setup – PostgreSQL				
😳 EDB	Welcome to the PostgreSQL Setup Wizard.				
PostgreSQL					
	< Back Ne	ext >	Can	cel	

◆PostgreSQLのインストール先選択画面です。インストール先を選択し[Next>>]ボタンをクリックします。 ※インストール先はドライブのみ変更可能です。

	- / 0		
👹 Setup	-		×
Installation Directory			
Please specify the directory where PostgreSQL will be installed.			
Installation Directory C#Program Files#PostgreSQL#14			
VMware InstallBuilder Kack	Next >	Cano	el

◆インストールするコンポーネントを選択する画面です。変更せずに[Next >]ボタンをクリックします。

Setup	– 🗆 X
Select Components	
Select the components you want to install; clear the when you are ready to continue.	components you do not want to install. Click Next
PostgreSQL Server pgAdmin 4 Stack Builder Command Line Tools	Click on a component to get a detailed description
Viniware Installbuilder	< Back Next > Cancel

◆データベース情報保管先選択画面です。保管先を選択し[Next >]ボタンをクリックします。

※保管先は「PostgreSQLのインストール先と同じフォルダバス¥data」を指定し	してくた	ごさい。
---	------	------

				·
👹 Setup		-		×
Data Directory				
Please select a directory under which to store your data. Data Directory [¥Program Files¥PostgreSQL¥14¥data]				
VMware InstallBuilder Kark	Ne:	<t>></t>	Can	cel

◆パスワード入力画面です。「postgres」と入力し[Next >]ボタンをクリックします。※パスワードの変更が必要な場合は広告取引EDIサポートデスクまでお問い合わせください。

新学校 100及关键起安试测自场/A-1	W.JILD	1 2 20	1.7
📲 Setup	-		×
Password			
Please provide a password for the database superuser (postgres).			
Password			
Retype password			
VMware InstallBuilder Sack	Next >	Cance	1

<table-of-contents> Setup</table-of-contents>				-		\times
Password						
Please provide a p	assword for the database	e superuser (postgres).			
Password	*******					
Retype password	•••••••					
VMware InstallBuilde	er					
			< Back	Next >	Can	cel

◆ポート番号設定画面です。変更せずに[Next >]ボタンをクリックします。

※ポート番号の変更が必要な場合は広告取引EDIサポートデスクまでお問い合わせください。

💕 Setup	-	□ ×
Port		
Please select the port number the server should listen on.		
Port 5432		
Øderse Technikler		
King Back	ext >	Cancel

◆設定情報選択画面です。

Localeの設定が初期値では [Default locale] となっているので [C] に変更し[Next >]ボタンをクリックします。 ※[C]以外を設定すると正常に動作しません。

	11 0 6 1	_,00			
Setup			-		Х
Advanced Options					
Select the locale to be used by the new database cluster. Locale [Default locale]					
VMware InstallBuilder	< Back	Next	t >]	Canc	el
Setup			-		×
Advanced Options					

Advanced Options	-	
Select the locale to be used by the new database of Locale C	:luster.	
VMware InstallBuilder	< Back Next > Cancel	

◆インストール内容の確認画面です。[Next >]ボタンをクリックします。

截 Setup	-		Х
Pre Installation Summary			\Rightarrow
The following settings will be used for the installation:			
Installation Directory: C¥Program Files¥PostgreSQL¥14 Server Installation Directory: C¥Program Files¥PostgreSQL¥14 Data Database Port 5432 Database Superuser: postgres Operating System Acount: NT AUTHORITY¥NetworkService Database Service: postgresql=x64-14 Command Line Tools Installation Directory: C¥Program Files¥PostgreSQL¥14 pedamin4 Installation Directory: C¥Program Files¥PostgreSQL¥14 Stack Builder Installation Directory: C¥Program Files¥PostgreSQL¥14 Installation Log: C¥Users¥Administrator¥AppData¥Local¥Temp¥2¥install=	¥14 in 4 bostgresql.k	Dg	< v
/Mware InstallBuilder	Next >	Car	icel

◆インストール準備完了画面です。[Next >]ボタンをクリックしてインストールを実行します。

Setup		_		×
Ready to Install				
Setup is now ready to begin installing PostgreSQL on your comp	outer.			
VMware InstallBuilder	ack Next	>	Cance	I

◆インストール中画面です。インストールが完了したら自動で次の画面に変わります。

👹 Setup		-	
Installing			
Please wait while Setup installs PostgreSQL on	your computer.		
I	installing		
Creating directory C:[]servers¥databases¥sche	mas¥tables¥rules¥static		
VMware InstallBuilder			
	< Back	Next >	Cancel
			Summerican

◆インストール完了画面です。 <u>チェックボックスのチェックを外し</u>、[Finish]ボタンをクリックします。 [Finish]ボタンをクリックするとPostgreSQLのインストール画面が閉じられ、U/Cサーバのインストーラが「データベースの



◆「データベースのインストール先確認」画面です。PostgreSQLのインストール先を変更した場合には、 [選択]ボタンからインストール先フォルダを選択して、[次へ]ボタンをクリックします。



◆バージョンアップ完了画面です。[完了]ボタンをクリックするとインストーラが終了します。 引き続き、「2.2.4.不要フォルダの削除」を実施します。

🕙 UCS バージョン 10.5.0		3944		×
	バージョ	ンア	ップ	完了
\`.m	バージョンアップが正常に終了しました。			
	引き続きインストールマニュアルに従って、以降の ださい。)手順を	実施して	:<
	「完了」をクリックすると、インストーラが終了し	,ます。		
×				
5				
InstallAnwhere				
キャンセル	戻る(P)		完了(D)	

2.2.4. 不要フォルダの削除

ここまでの手順が問題なく完了すると、以下フォルダが作成されています。U/Cサーバの運用には不要となりますので、サーバの空き容量が逼迫する場合は削除してください。

- ▶ (U/Cインストールフォルダ)¥operation¥Update_10.5.0
 - ※ 上記フォルダと同じ階層にフォルダ「Storage_10.5.0」も作成されています。こちらのフォルダは、旧バージョンのバックアップを含みますので、削除は避けてください。 なお、U/Cサーバの運用には不要となりますので、フォルダの圧縮や別サーバへの移動は問題ありません。

2.2.5. サービス設定変更

U/Cサーバのバージョンアップに伴い、PostgreSQLのインストールを行った際に必要な手順です。 バージョンアップ実施前のU/Cサーバのバージョンによって、設定変更を行う対象のサービスが異なります。

「表 2-1 停止対象のPostgreSQLのサービス名」を元に、設定変更の対象となるサービス名を参照の上、作業を行ってください。

A Z I F正列家のI OstgresQLのグダービバ石						
サービス名	既存の U/C サーバ バージョン					
	10.1.0 10.2.0 10.3.0 10.4.0					
postgresql-x64-9.2	0	0	-	-		
postgresql-x64-10	_	_	0	0		

表 2-1 停止対象のPostgreSQLのサービス名

※以降の手順では「postgresql-x64-10」と表記しますが、設定変更の対象となるサービス名に読み替えてください。

◆Windowsのサービスを起動します。

コントロールパネル > 管理ツール > サービス を開きます。

「postgresql-x64-10」を右クリックし、メニューの中から「プロパティ」をクリックします。

🧠 サービス ファイル(F) 操作(A)	表示(V) ヘルプ(H)				-	
	à 🗟 🛛 📷 🕨 🔲 II IV					
🤍 サービス (ローカル)	 ・サービス (ローカル) 					
	postgresql-x64-10	名前	^	説明	状態	スタートアップの種 ^
	<u>サービスの開始</u> 説明: Provides relational database storage.	postgresql-x64-10 postgresql-x64-14 power Print Spooler Print Spooler PrintWorkflow_d52: Problem Reports an Program Compatibi Quality Windows A	開始(S) 停止(O) 一時停止(U) 再開(M) 再起動(E) すべてのタスク(K)	 Provides relational d vides relational d 東ポリシーと電源ボ サービスは、印刷ジ サービスは、印刷ジ リワークフロー 題の報告と解決策 > サービスは、ブログラ b質な Windows 	実行中 実行中 実行中 実行中	自自自自手手手手手手手手手手
選択した項目のプロパティ	↓ 拡張人標準/ ダイアログ ポックスを開きます。	Remote Access Aut Remote Access Con Remote Desktop Co	最新の情報に更新(F) プロパティ(R) ヘルプ(H)	グラムにより、リモー コンピューターからイ -ト デスクトップ サー	実行中 実行中	手動 自動 手動 >

►TXダートア	ップの種類」を自動から手動に変更し		く」ホタン	ンをクリックします。	
(ローカル コンピューター)	postgresql-x64-10 のプロパティ X	(ローカ	ル コンピュータ	ター) postgresql-x64-10 のプロパティ	×
全般 ログオン 国	回復 依存關係	全般	ログオン	ン回復依存闘係	
サービス名:	postgresql-x64-10	" #-	・ビス名:	postgresql-x64-10	
表示名:	postgresql-x64-10	表	示名:	postgresql-x64-10	
説明:	Provides relational database storage.	説	明:	Provides relational database storage.	
実行ファイルのパス: "C:¥Program Files	¥PostgreSQL¥10¥bin¥pg_ctl.exe" runservice -N "postgresql-x6	実í "C·	行ファイルのバ ¥Program F	パス: Files¥PostgreSQL¥10¥bin¥pg_ctl.exe" runservice -N "postgresql-xé	
スタートアップの 種類(<u>E</u>):	自動 ~	スら 種3	7ートアップの 頬(<u>E</u>):	[手動] >	
サービスの状態:	停止	.	-ビスの状態:	: 停止	
開始(<u>S</u>)	停止(<u>1</u>) 一時停止(<u>P</u>) 再開(<u>R</u>)		開始(<u>S</u>)	停止(① 一時停止(2) 再開(2)	
ここでサービスを開始	するときに適用する開始パラメーターを指定してください。	22	でサービスを開	開始するときに適用する開始パラメーターを指定してください。	
開始パラメーター(<u>M</u>):	:	開	始パラメーター	-(<u>M</u>):	
	OK キャンセル 適用(A)			OK キャンセル 適用(<u>A</u>)	

◆「スタートアップの種類」を自動から手動に変更して[OK]ボタンをクリックします。

2.2.6. U/Cサーバの起動

最後に、U/Cサーバを起動してバージョンアップ作業は完了となります。

グループポリシー設定やOSタスクスケジューラ設定による自動起動の運用を行っている場合は、OS再起動を実施してください。ucsコマンド実行による手動起動の運用を行っている場合は、「UCサーバ 10.5.0 オペレーションマニュアル」の「10.1.U/Cサーバの手動起動」を参照し、U/Cサーバを起動してください。

2.3. バージョンアップ後の動作確認

ここまでの手順にてU/Cサーバのバージョンアップが完了した後、広告取引EDIシステムへ通信を行うことで、正常にバージョンアップできていることを確認します。

こちらの作業は必須ではありませんので、必要なお客様のみの実施で問題ありません。

確認はTaskManagerより問い合わせ機能を利用して行います。テストデータを利用したEDIデータの送受信での確認を行いたい場合は、広告取引EDIのサポートデスクまでお問い合わせください。

2.3.1. 問い合わせ機能による確認

① TaskManagerのメインメニュー画面またはツールバーの[問い合わせ選択受信]ボタンをクリックして、「問い合わせ選択受信]画面を表示します。



② 対象データの[受信済み]チェックボックスからチェックを外して、[問い合わせ]ボタンを押下します。

admin The He Thisses

10.00

DITA

.....

					-	
送信者コード RPID		- TAT	利象	データ 図末愛に	□受信済み	
制服风分	147					
					· ·	_
						a vene 🗟 🕫
い合わせ結果一	寬 表示件数0件					
信者	受信者	BPID	情報区分	MBRAB	ステータス	送信管理委号
	_		_			_

rasimanager (jg		D.ucs_admin II 9.1V11	···			
アプリケーション	メニュー ヘルプ			<u>₽</u> 4 © ²		9 🗂 🕰 🛙
🗋 問い合わせ	せ選択受信	C				
送信者コード		■ すべて	対象デ	-タ 🗹 未受信 🔲 🤅	受信済み	
BPID						
情報区分	すべて	-				
	受信者	BPID	情報区分	MB投入日	ステータス	送信管理番号
	更 \$011180.111 			ND#03 D	7=. 47	·¥/~~~
1大1三古						
达信者 広告会社	放送局	テレビデジタル	引合デジタル	2023/02/15 16:33:46	未受信	2232F163300
达信者 広告会社 広告会社		テレビデジタル		2023/02/15 16:33:46 2023/02/15 16:33:46	未受信	2232F1633000 2232F1633000
达信者 広告会社 広告会社 広告会社	故送局 放送局 放送局	テレビデジタル テレビアナログ テレビアナログ	引合デジタル 割付 引合	2023/02/15 16:33:46 2023/02/15 16:33:46 2023/02/15 16:33:46	未受信 未受信 未受信 未受信	2232F1633000 2232F1633000 2232F1633000
达信者 広告会社 広告会社 広告会社 広告会社 広告会社	太吉省 放送局 放送局 放送局 放送局	テレビデジタル テレビアナログ テレビアナログ テレビアナログ テレビデジタル	引合デジタル 割付 引合 割付デジタル	2023/02/15 16:33:46 2023/02/15 16:33:46 2023/02/15 16:33:46 2023/02/15 16:33:46 2023/02/15 16:33:46	未受信 未受信 未受信 未受信 未受信	2232F1633000 2232F1633000 2232F1633000 2232F1633000 2232F1633000
达信者 広告会社 広告会社 広告会社 広告会社	放送局 放送局 放送局 放送局	テレビデジタル テレビアナログ テレビアナログ テレビアナログ テレビデジタル	引合デジタル 割付 引合 割付デジタル	2023/02/15 16:33:46 2023/02/15 16:33:46 2023/02/15 16:33:46 2023/02/15 16:33:46	未受信 未受信 未受信	2232F1633000 2232F1633000 2232F1633000 2232F1633000
达信者 広告会社 広告会社 広告会社 広告会社	放送局 放送局 放送局	テレビデジタル テレビアナログ テレビアナログ テレビデジタル	引合デジタル 割付 引合 割付デジタル	2023/02/15 16:33:46 2023/02/15 16:33:46 2023/02/15 16:33:46 2023/02/15 16:33:46	未受信 未受信 未受信 未受信	2232F1633000 2232F1633000 2232F1633000 2232F1633000
这信者 広告会社 広告会社 広告会社 広告会社	放送局 放送局 放送局	テレビデジタル テレビアナログ テレビアナログ テレビデジタル	引合デジタル 割付 引合 割付デジタル	2023/02/15 16:33:46 2023/02/15 16:33:46 2023/02/15 16:33:46 2023/02/15 16:33:46	未受信 未受信 未受信 未受信	2232F1633000 2232F1633000 2232F1633000 2232F1633000
述[18者 広告会社 広告会社 広告会社 広告会社	放送局 放送局 放送局 放送局	テレビデジタル テレビアナログ テレビアナログ テレビデジタル	引合デジタル 割付 引合 割付デジタル	2023/02/15 16:33:46 2023/02/15 16:33:46 2023/02/15 16:33:46 2023/02/15 16:33:46	未受信 未受信 未受信 未受信	2232F1633000 2232F1633000 2232F1633000 2232F1633000
这『青者 広告会社 広告会社 広告会社 広告会社	放送局 放送局 放送局 放送局	テレビデジタル テレビアナログ テレビアナログ テレビデジタル	引合デジタル 割付 引合 割付デジタル	2023/02/15 16:33:46 2023/02/15 16:33:46 2023/02/15 16:33:46 2023/02/15 16:33:46	未受信 未受信 未受信 未受信	2232F1633000 2232F1633000 2232F1633000 2232F1633000
述言者 広告会社 広告会社 広告会社 広告会社	放送局 放送局 放送局 放送局	テレビデジタル テレビアナログ テレビアナログ テレビデジタル	引合デジタル 割付 引合 割付デジタル	2023/02/15 16:33:46 2023/02/15 16:33:46 2023/02/15 16:33:46 2023/02/15 16:33:46	未受信 未受信 未受信 未受信	2232F1633000 2232F1633000 2232F1633000 2232F1633000
述言者 広告会社 広告会社 広告会社 広告会社	放送局 放送局 放送局	テレビデジタル テレビアナログ テレビアナログ テレビデジタル	引合デジタル 割付 引合 割付デジタル	2023/02/15 16:33:46 2023/02/15 16:33:46 2023/02/15 16:33:46 2023/02/15 16:33:46	未受信 未受信 未受信 未受信	2232F1633000 2232F1633000 2232F1633000 2232F1633000
述言者 広告会社 広告会社 広告会社 広告会社	》送局 放送局 放送局	テレビデジタル テレビアナログ テレビアナログ テレビデジタル	引合デジタル 割付 引合 割付デジタル	2023/02/15 16:33:46 2023/02/15 16:33:46 2023/02/15 16:33:46 2023/02/15 16:33:46	未受信 未受信 未受信 未受信	2232F1633000 2232F1633000 2232F1633000 2232F1633000

※ エラーが発生した場合、その内容を通知するメッセージダイアログが表示されます。

※ 広告取引EDIシステムに着信しているデータの状況次第では、問い合わせ結果一覧に何も表示されない場合があ りますが、その場合は検索結果が0件であっただけであり、通信確認としては問題ありません。

2.4. SystemManager、TaskManagerの別端末でのバージョンアップ

本章では、U/Cサーバのバージョンアップを行った端末以外で、SystemManager、およびTaskManagerのバージョンアップ を行う手順を説明します。

SystemManager、およびTaskManagerを別端末にインストールしている場合、以下の手順に沿って必ずバージョンアップを行ってください。なお、本章はU/Cサーバのバージョンアップ完了後に実施してください。

※ 別端末でのバージョンアップを行う必要がないお客様は、本手順の実施は不要です。

※ バージョンアップを行わなかった場合、U/Cサーバを正常に操作できない可能性があります。

- はじめに、SystemManager、TaskManagerをアンインストールします。詳細は、「2.2.2 SystemManager、 TaskManagerのアンインストール」を参照してください。
- ② SystemManager、TaskManagerのインストーラを、U/Cサーバをインストールした端末の以下ファイルパスから取得し、インストール先の別端末にコピーしてください。コピーする場所は任意です。
 - SystemManager
 (U/Cインストールフォルダ)¥operation¥init¥application¥SystemManager.exe
 - ➤ TaskManager (U/Cインストールフォルダ)¥operation¥init¥application¥TaskManager.exe
- ③ 別端末にコピーした上記インストーラを使用して、SystemManager、TaskManagerの順番にインストールします。そ れぞれのインストーラをダブルクリックで実行し、画面に従ってインストールを実施してください。

2.5. エラーが発生したときは

バージョンアップ実行時にエラーが発生した場合、インストーラの画面にエラーメッセージが出力されます。以下の表から 対応方法を確認してください。対応方法に記載のないメッセージが出力された場合や不明点がある場合は、広告取引EDI サポートデスクまでお問い合わせください。

ログファイルの確認を促すメッセージが出力された場合には、ログファイルに出力されたメッセージを確認してください。なお、ログファイルは以下ファイルパスに配置されています。

▶ (U/Cインストールフォルダ)¥operation¥Storage_10.5.0¥logs¥error.log

2.5.1. 対応方法

表 2-2 プロセス状況関連メッセージ

メッセージ	対応
UIServer の停止に失敗しました。	該当のサービスを停止してください。
UcsLog の停止に失敗しました。	停止手順は「UCサーバ 10.5.0 オペレーションマニュアル」
{PostgreSQLのサービス名}の起動に失敗しました。	PostgresSQLサービスを起動してください。
UCController、ScheduleControllerの状況確認を省略し	①コントロールパネルを開き、「管理ツール」から「サービス」を
ます。	起動する
	②メッセージに表示されたPostgreSQLのサービス名を確認
	し、一覧から同じ名称のサービスを選択する
	③右クリックメニューから「開始」をクリックする
UCController の停止に失敗しました。	該当のプロセスを停止してください。
SahadulaContuellan の信止に生む」ました	停止手順は「UCサーバ 10.5.0 オペレーションマニュアル」
ScheduleControllerの停止に大敗しました。	の「10.2.U/Cサーバの手動停止」をご参照ください。

表 2-3 バックアップ取得関連メッセージ

メッセージ	対応
バックアップ取得フォルダが存在しません。	(U/Cインストールフォルダ)¥operationフォルダ配下にフォル
	ダ「Storage_10.5.0」が存在することを確認してください。存在
	しない場合はフォルダ「Storage_10.5.0」を作成し、再度インス
	トーラを実行してください。
ダンプファイルの出力先フォルダの作成に失敗しまし	バックアップ取得対象のフォルダやファイルに読み取り権限
7E.	がない可能性があります。
{フォルダ名またはファイル名}のコピーに失敗しました。	メッセージに出力されたフォルダやファイルの読み取り権限を
	確認してください。

メッセージ	対応
libフォルダの一時的なリネームに失敗しました。モジュー	新規モジュールへの入れ替え対象となるフォルダやファイル
ル入れ替えが可能な状態ではありません。	に実行権限がない可能性があります。
libフォルダのリネームの戻し処理に失敗しました。モジュ	メッセージに出力されたフォルダやファイルの実行権限を確
ール入れ替えが可能な状態ではありません。	認してください。
{フォルダ名またはファイル名}の削除に失敗しました。	実行権限に問題がないことが確認できたら、削除に失敗した
	フォルダやファイルを手動で削除してください。
{フォルダ名またはファイル名}の配置に失敗しました。	新規モジュールへの入れ替え対象が配置されるフォルダに
	書き込み権限がない可能性があります。
	メッセージに出力されたフォルダやファイルの書き込み権限
	を確認してください。

メッセージ	対応
現行バージョンのバージョン番号が取得できませんでし	「(U/Cインストールフォルダ)¥operation¥Storage_10.5.0¥
た。	backup¥UcsProgram¥version.txt」が存在することを確認してく
	ださい。
適用バージョンのバージョン番号が取得できませんでし	「(U/Cインストールフォルダ)¥UcsProgram¥version.txt」が存
た。	在することを確認してください。
不正なアップデートが検出されました。	現行のU/Cサーバ バージョンよりも古いバージョンを適用し
	ようとしている可能性があります。バージョンアップを中止して
	ください。
○○.sql の適用に失敗しました。	エラーの内容に沿った個別の対応が必要となります。広告取
	引EDIのサポートデスクまでお問い合わせください。
	※「〇〇」には複数種類のファイル名が当てはめられます。

表 2-5 データベース更新関連メッセージ

A 2 0 1 USEGIEUQL/	
メッセージ	対応
現行バージョンのバージョン番号が取得できませんでし	PostgresSQLサービス(postgresql-x64-9.2 または
た。処理の続行が不可能な状態です。	postgresql-x64-10)が起動していることを確認してください。
データベースの情報取得に失敗しました。	
過去のデータベース取得情報の削除に失敗しました。	「(U/Cインストールフォルダ)¥operation¥Storage_10.5.0¥
	backup¥db」配下のファイルを手動で削除してください。
適用バージョンのバージョン番号が取得できませんでし	「(U/Cインストールフォルダ)¥operation¥Update_10.5.0¥
た。	¥update_module¥operation¥init¥application¥postgresql-
	14.5.0-1-windows-x64.exe」が存在することを確認してくださ
	k∿₀
データベースバージョンアップ実行ファイルの作成に失	「(U/Cインストールフォルダ)¥operation¥Storage_10.5.0¥
敗しました。	¥end」フォルダに書き込み権限がない可能性があります。該
	当フォルダの書き込み権限を確認してください。

表 2-6 PostgreSQLアップデート関連メッセージ

2.5.2. インストーラの再実行

エラーが発生した原因への対応が完了した後、再びインストーラを実行することで、バージョンアップを再開することができます。バージョンアップを再開する場合は、「2.2.バージョンアップ手順」に従ってインストーラを再実行してください。

※ 一度、インストーラを実行した際に作成されたフォルダやファイルは削除しないでください。削除された場合、バージョンア ップを正常に再開することができません。